

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公表番号】特表 2004-503232 (P2004-503232A)

【公表日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2004-005

【出願番号】特願 2002-510501 (P2002-510501)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 31/7115

A 6 1 K 31/712

A 6 1 K 31/7125

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/06

C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7115

A 6 1 K 31/712

A 6 1 K 31/7125

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/06

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 1 月 9 日 (2003.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

C / E B P をコードする核酸分子を標的とする長さ 8 ~ 30 の核塩基のアンチセンス化合物であって、C / E B P に特異的にハイブリダイズし、そしてその発現を阻害する、前記アンチセンス化合物。

【請求項 2】

アンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 1 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 3】

アンチセンスオリゴヌクレオチドが S E Q I D N O : 18、25、28、31、33、34、36、40、41、42、45、46、50、52、54、55、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、68、69、70、71、72、73、75、79、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91

、 1 0 0、 1 0 2、 1 0 5、 1 0 6、 1 1 4、 1 2 0、 1 2 1、 1 2 7、 1 2 8、 1 3 0、 1 3 2、 1 3 3、 1 3 8、 1 3 9、 1 4 2、 1 4 6、 1 4 7、 1 5 0、 1 5 3、 1 5 4、 1 5 8、 1 6 4、 1 6 5、 1 6 6、 1 6 7、 1 7 5、 1 7 6、 1 7 9、 1 8 2、 2 0 2、 2 0 3、 2 0 6、 2 0 9、 2 1 0、 2 1 1、 2 1 4、 2 1 6、 2 1 7、 2 1 8、 2 1 9、 2 2 1、 2 2 2、 2 3 2、 2 3 6、 2 3 7、 2 3 8、 2 3 9 または 2 4 0 を含む配列を有する、請求項 2 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 4】

アンチセンスオリゴヌクレオチドが少なくとも一つの修飾ヌクレオシド間結合を含む、請求項 2 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 5】

修飾ヌクレオシド間結合がホスホロチオエート結合である、請求項 4 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 6】

アンチセンスオリゴヌクレオチドが、少なくとも一つの修飾糖部分を含む、請求項 2 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 7】

修飾糖部分が 2' - O - メトキシエチル糖部分である、請求項 6 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 8】

アンチセンスオリゴヌクレオチドが少なくとも一つの修飾核塩基を含む、請求項 2 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 9】

修飾核塩基が 5 - メチルシトシンである、請求項 8 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 10】

アンチセンスオリゴヌクレオチドがキメラオリゴヌクレオチドである、請求項 2 に記載のアンチセンス化合物。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のアンチセンス化合物および医薬的に許容可能な担体または希釈剤を含む、組成物。

【請求項 12】

コロイド分散システムをさらに含む、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

アンチセンス化合物がアンチセンスオリゴヌクレオチドである、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 14】

細胞または組織において C / E B P の発現を阻害する方法であって、前記細胞または組織と請求項 1 に記載のアンチセンス化合物とを接触させ、それにより C / E B P の発現を阻害することを含む、前記方法。

【請求項 15】

C / E B P の発現を阻害することにより、C / E B P と関連する疾患または症状を有する動物を治療するための、治療的または予防的有効量の請求項 1 に記載のアンチセンス化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 16】

疾患または症状が炎症性障害である、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

疾患または症状が糖尿病である、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

疾患または症状が免疫学的障害である、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

疾患または症状が過剰増殖性障害である、請求項 15 に記載の医薬組成物。

**【請求項 20】**

過剰増殖性障害が癌である、請求項 19 に記載の医薬組成物。